

事業評価書 (事前)

作成年月日 2002・2・13

事務事業名		水道施設整備事業資金貸付金 (環境、都市再生、地方活性化)						
事務事業概要	(1) 目的	水資源の有効利用等、環境にやさしい水道施設の整備を図るとともに、安全でおいしい水の供給、災害に強い水道施設を整備することにより、豊かで快適な市民生活及び活力に満ちた都市の再生・発展を実現する。						
	(2) 内容	<p>漏水を減らし、水の有効利用を図るため、石綿セメント管の更新事業等を促進し環境への負荷を軽減することにより、健全な水循環を構築する。</p> <p>近年の環境悪化による水道水源汚染の進展による異臭味被害やクリプトスピリジウム等の感染性微生物問題等に対応した安全でおいしい水道水の安定供給を確保するため、高度浄水施設等を整備する。</p> <p>浄水施設の安全性対策等、緊急水道安全対策を推進する。</p>						
	(3) 達成目標	<p>要求額 6,301 百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の有効利用 (漏水率の低減) [有効率 91.4 % (平成 11 年年度) : 給水される水量が有効に使用されたかどうかを示す指標] 水道水質の安定化 水道施設の安全対策の向上 						
評価	(1) 必要性	水道事業については、自然の河川、地下水やこれらを取りまく生態系の保全及び近年の少雨化傾向を踏まえ、限りある水資源の有効利用に資する水道施設の整備が求められている。また、国民の生活や事業者の事業活動を直接支えていることに加え、生活圏、経済圏としての都市機能そのものを維持するために不可欠な社会基盤のひとつであり、給水人口の増加、生活水準の向上、都市活動の活発化に対応した水の供給体制を確保するとともに、水源汚染や地震、渇水に対応した安全でおいしい水の安定供給を図る必要がある。						
	(2) 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 環境への負荷の低減。 良好な自然環境の保全、再生。 異臭味被害人口の減少。 地震、災害等に強い水道の確立。 環境に配慮した新たな技術開発への投資効果。 						
	(3) 効率性	<p>[単年度の費用]</p> <table border="0"> <tr> <td>13年度2次補正予算要望</td> <td>総事業費</td> <td>18,909 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち補助金</td> <td>6,301 百万円</td> </tr> </table> <p>[手段の適正性]</p> <p>新規採択にあたっては費用対効果分析を行った上で採択。新規採択後5年を経過して継続中の事業については再評価を実施。</p>	13年度2次補正予算要望	総事業費	18,909 百万円		うち補助金	6,301 百万円
	13年度2次補正予算要望	総事業費	18,909 百万円					
	うち補助金	6,301 百万円						
(4) その他 (公平性・優先性 など)	<p>[国会による決議等の状況]</p> <p>平成 13 年 7 月 4 日に公布された「水道法の一部を改正する法律」における衆参両院の付帯決議。</p> <p>流域における健全な水循環の視点から、安全かつ良質な水道水の供給を確保するため、水環境の保全・再生に資する施策の充実をはかること。</p> <p>環境への負荷の軽減するため、節水型社会に向けた施策を積極的に進めるとともに、合理的な水需給計画とすること。</p>							

	<p>近年の地下水汚染の進展やクリプトスポリジウム等の新たな病原性微生物、環境ホルモン等に対応するため、水質検査技術の向上と水道水質基準の強化・拡充に努めること。</p> <p>水道施設の老朽化や震災等への対応を充実する観点から、水道施設の技術水準の向上および適切な更新が行われるよう、必要な支援や的確な助言の提供を行うこと。</p>
関連事務事業	<p>健全な水循環の形成に関する研究（平成14年度予算要望）</p> <p>健全な水循環系を構築するため、居住環境に応じた水の有効利用や地域レベルの節水型水道システム、水道エネルギーの有効利用に関する調査研究を行う。</p> <p>水道合理化・効率化推進事業（平成14年度予算要望）</p> <p>近年の渇水等に対応し、安定した水利用を可能とする都市基盤の確立を目指し、水道水の需要供給シュミレーターの開発、渇水時における節水対策に関するガイドラインの整備等を図る。</p>
特記事項	<p>[第151回国会における小泉内閣総理大臣所信表明演説(平成13年5月)]</p> <p>おいしい水、きれいな空気、安全な食べ物・・・は我々が望む生活。環境への制約を克服する科学技術を開発・普及する。</p>
主管課 及び関係課	<p>(主管課)水道課</p> <p>(関係課)</p>